

# 学習センターだより

## 令和8年度 第1号(4月発行)

### 図書館の利用方法

#### ★開館時間★

8:30~18:30頃

※学校が午前で終わる日や長期休業中等、早く閉めることもあります。そのときは入口でお知らせします。

#### ★貸出方法★

冊数：制限なし 期間：2週間

カウンターでR、出席番号、名前を伝えるだけでOK。

※カウンターに人がいない場合は、カウンター上にある貸出票に記入して、水色の缶に入れてください。

※雑誌の最新号は一夜貸出ですので、翌日に返却してください。

#### ★返却方法★

返却BOXがカウンター横と図書館入口にあります。どちらかに入れてください。

#### ★リクエスト★

読みたい本がないときは、購入したり、または他館から貸借したりして提供します。

#### ★予約★

読みたい本が誰かに借りられているときは、予約することができます。返却され次第、連絡します。

#### ★レファレンス(調査相談)★

本が見つからない時、調べ方がわからないときなどは、カウンターで聞いてください。

#### ★守ってほしいマナー★

- ・フタのない飲み物の持ち込みは禁止
- ・昼休憩のみ食事OK
- ・スマホの利用は禁止
- ・周りに配慮したおしゃべりをお願いします

### 図書館のホームページがあります

#### 松江東高校図書館サイト

NEW 本に関する耳より情報

図書館だより (新着図書案内) はこちら

蔵書検索はこちら (東高と県立と市立図書館の検索可能)

蔵書検索画面の説明 (利用方法)

リクエストはこちら (Googleforms)

メルマガ登録はこちら (7-11の更新等をお知らせ)

松江東高校の図書館だけでなく、県立図書館、松江市立図書館の本も同時に検索可能です。検索画面から予約もできます。

どの図書館にもない本は、こちらからリクエストできます。できる限り要望にお応えします！

サイトの更新情報をお知らせするメルマガがあります。もちろん無料(Email)で登録できます。

テーマ別おすすめサイトまとめ

探究学習のお供に 進路、受験に役立つ

勉強に役立つ (英語学習、大学講義等)

島根について

ちよっと一息

クロームブックからポータルサイト「East Portal」を開くと、トップ画面の右側に「東高図書館」のボタンがあります。そちらをクリックすると、図書館のホームページに飛びます。

図書館サイトでは東高図書館にある本の検索ができますし、予約やリクエストをすることもできます。また、朝日新聞の新聞記事を検索できる「朝日けんさくくん」を使うことができます。

### 本屋大賞受賞作が決定しました!(展示中)

## 本屋大賞 2026年大賞決定!!

2026年本屋大賞

全国書店員が選んだ 売りたい本 1つばん!

大賞: 朝井リョウ 『イン・ザ・メガチャーチ』

2位: 熟柿 佐藤正午

3位: PRIZE

4位: エビクリスの地方選 夏川忍介

5位: 暁星 淡かなえ

6位: 野矢利 『殺し屋の営業術』

7位: ありか

8位: 横田智恵 『失われた貌』

9位: さよなら ジャパンウォーク 伊坂幸太郎

10位: さよなら ジャパンウォーク

Supported by NOLTY 手帳ブランドNOLTY[ノルティ]は本屋大賞を応援しています。

今年の本屋大賞受賞作が決定しました! 大賞受賞は朝井リョウさんの『イン・ザ・メガチャーチ』です。図書館前に1~10位の本を展示していますので気になる人はぜひチェックしてください。



# 新着図書紹介(一部)



『神の蝶、舞う果て』  
上橋菜穂子：著 講談社

聖域「闇の大井戸」で聖なる蝶を守る降魔士の少年ジエードと、相棒の少女ルラン。ある日ルランが異能の兆しである鬼火に異常反応を示したことで、聖域内に波紋が広がる。己の正体を知りたいと願う彼女と、彼女を守りたいジエード。二人は、神と魔が交錯する壮大な運命へと巻き込まれていく。



『世界一やばい西洋絵画の見方入門3』山田五郎：著 宝島社

人気YouTubeチャンネル「山田五郎 オトナの教養講座」から、待望のシリーズ第3弾が登場。名画に隠された意外な真実や画家の裏話を、独自の切り口で愉快に解き明かす。図解や年表が充実しており、美術の専門知識がなくても歴史の流れがスッと頭に入る一冊。初心者からファンまで、西洋美術を身近に楽しめる決定版。



『宇宙の謎に迫る！ 中学生からわかる現代天文学』  
島袋隼士：著 技術評論社

広大な宇宙の神秘に迫る、雲南大学の人気講義「現代天文学入門」が待望の書籍化。ブラックホールや宇宙の起源、異星人の存在まで、SFのようにワクワクする100のトピックを厳選。初学者向けに星々や銀河の歴史を分かりやすく解説。天文学の視点から、想像を超える壮大な宇宙の謎を解き明かす一冊。



『はじめまして病理学』  
市原真：著 照林社

「病理学は難解」という先入観を覆す一冊。単なる専門用語の暗記ではなく、さまざまな用語の裏側にある「ストーリー」を読み解くことで、病の仕組みを本質から理解できるようになる。人体を一つの「都市」に見立てるなど、秀逸なたとえ話が満載。初学者でも「なるほど」と膝を打つ解説で、複雑な医学の知識がスッと繋がって新感覚の入門書！



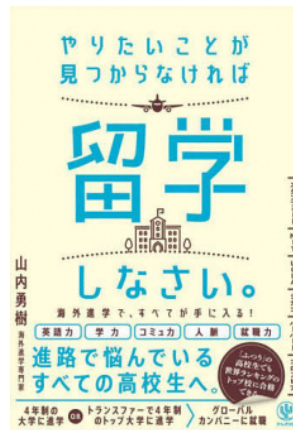
『三省堂国語辞典から消えたことば辞典』  
見坊行徳、三省堂：編修 三省堂

辞書から消えた「削除語」に光を当てた異色の辞典が登場。昭和18年からの約80年間で、時代の変化と共に姿を消した言葉を厳選して収録。「コギャル」や「オート三輪」など15項目は活字を大きくし、時代背景や関連語の盛衰を紹介。脚注や挿絵も充実し、言葉の変遷を通して社会の歩みを愛おしむ本。



『パフォーマンスを上げる！ソフトテニスのコンディショニング』  
川上晃司：著 ベースボール・マガジン社

本番で実力を出し切るための「調整力」を網羅した一冊。ナショナルチームを導いた専門家が、運動前の準備から休息、食事、メンタル、怪我の予防まで、最高の状態を作る技術を徹底解説。単なる根性論ではなく、科学的な視点でコンディショニングを指南。勝負どころで100%の力を発揮したい全アスリート必読のバイブル。



『やりたいことが見つからなければ留学しなさい。』  
山内勇樹：著 かんき出版

人生を左右する大学選び。本書は、成長を最大化させる選択肢として「海外進学」を提案。ハードルになりがちな費用や準備、具体的なステップを専門家が徹底解説。特別な層だけの特権ではなく、誰もが挑戦できる道であることを示している。未知の世界で自分を磨き、可能性を広げたい人へ贈る進路ガイドの決定版。



『地域社会はエネルギーとどう向き合ってきたのか』  
茅野恒秀、青木聡子：編 新泉社

便利さと引き換えに、私たちはエネルギーの供給源やその犠牲を「見えないもの」にしてきた。本書は、供給地の疲弊や格差を生んだ歴史を直視し、特定の犠牲の上に成り立つ社会を問い直す。誰の生活も壊さない「公正なエネルギー」への転換こそが、次世代への責任である。持続可能な未来と社会のあり方を提言する一冊。



『子どもホスピス 限りある小さな命が輝く場所』  
田川尚登：著 新泉社

「看取る」ためではなく、限られた時間を共に「豊かに生きる」ために。わが子を亡くした経験を持つ著者が、日本ではまだ少ない「子どもホスピス」の意義と必要性を綴ります。どんなに短い命でも愛し愛される尊さ、そして家族が「出会えてよかった」と思える心の支えとは。命の重みと希望に向き合う、魂の記録。



『感覚史入門 なぜプラスチックを「清潔」に感じるのか』  
久野愛：著 平凡社

私たちが普段当たり前だと思っている「心地よさ」や「におい」などの感覚は、実は社会や企業によって意図的に作られたものかもしれない。本書は、五感がどのように商品化され、私たちのライフスタイルが操られてきたのかを紐解く「感覚史」の入門書。



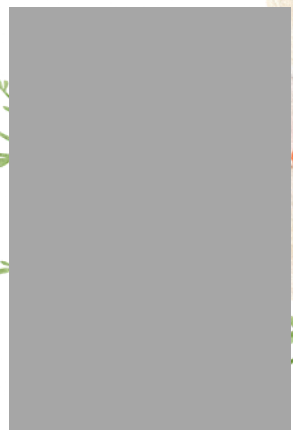
『ガラス図鑑 歴史・技法・名品』  
岡崎孝俊：監修 平凡社

古代の誕生から、名品、製造技法まで、ガラスの全貌を豊富なビジュアルで解き明かす入門書。バカラやクリスタルといった世界の名門ブランド、切子に代表される日本の伝統、さらに芸術様式の変遷まで網羅。選び方やお手入れ方法などの実用知識も充実。透明な輝きに秘められた歴史と美を深く堪能できる本。



『美しいトマトの科学図鑑』  
矢守航、矢守那海子、松島依子：著 創元社

日本で300種超の登録があるトマトは、色も形も味も驚くほど多様な「個性の宝庫」。本書は東大の農場で育てた50品種を厳選し、緻密な科学分析と息をのむほど美しい写真でその魅力を解剖。茎のつぶ毛まで捉えた精細なビジュアルは、眺めるだけで至福のひとつ。知的好奇心と視覚を満たす、最高のトマト図鑑。



『防災と福祉ガイドブック』  
地域安全学会：編 朝倉書店

防災と福祉の制度や対策を、両者を統合した「福祉防災」という独自の視点から分かりやすく解説。歴史から基本理念、現場での連携までを網羅した実務者必携のガイドブック。項目読み切り形式に加え、側注による補足も充実。刻々と変わる災害リスクに対し、誰も取り残さない支援の仕組みを学ぶための実践的な一冊。



『ガザ、戦下の人道医療援助』  
萩原健：著 ホーム社

「国境なき医師団」の活動責任者が、戦火のガザで奔走した6週間の緊迫した記録。激しい空爆や砲撃が繰り返される極限状態の中、スタッフの安全を守りつつ、一分一秒を争う救命活動と地域交渉に挑んだ日々を綴る。極限の疲弊にあっても希望を捨てない住民や子供たちの姿を通じ、現地の壮絶な真実を浮き彫りにする。



『水中遺跡はそこにある』  
佐々木ランディ：著 筑摩書房

北は北海道から南は沖縄、さらには海のない県や首都圏まで。私たちの足元に眠る「水中遺跡」の魅力を凝縮した一冊。蒙古襲来の証拠や湖底の集落、沈没船など、身近な場所に潜む歴史の謎を徹底解説。モノや場所に刻まれた異国との絆を辿り、地域と海の意外な繋がりを再発見できる、知的好奇心を刺激する案内書。



『ムシの考古学図鑑』  
森勇一：著 雄山閣

「昆虫考古学」というユニークな視点から、見えない歴史を掘り起こす。縄文の集落や弥生の水田、さらには信長が攻めた城の跡地まで、遺跡から見つかる小さな虫の化石が当時の風景を鮮明に再現。人々の暮らしや街道の賑わいを、虫たちが語り始める。ミクロな遺物から壮大な過去を読み解く、驚きに満ちた案内書。